

製品名: APE1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00218**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

抗原情報

遺伝子名	APEX1 APEX1; APE; APE1; APEX; APX; HAP1; REF1; DNA-(apurinic or apyrimidinic site) lyase; APEX
別名	nuclease; APEN; Apurinic-apyrimidinic endonuclease 1; AP endonuclease 1; APE-1; REF-1; Redox factor-1
遺伝子 ID	328
SwissProt ID	P27695
免疫原	ヒト APE1 の組み換えタンパク質

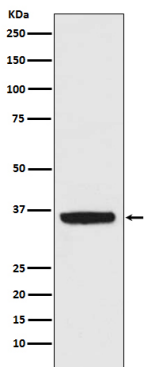
背景

Ape1 は脱塩基部位の修復を開始し、塩基除去修復（BER）経路に必須です。Ape1 の修復活性は、BER におけるもう一つの必須タンパク質である XRCC1 との相互作用によって刺激されます。Ape1 は、転写因子を活性な還元状態に保つ酸化還元因子として機能しますが、酸化還元非依存的に転写補因子として機能し、アポトーシス、増殖、分化といった様々な細胞運命を制御します。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



APE1 抗体を使用した K562 溶解物中の APE1 のウエスタンブロット分析。